

令和 6 年 6 月 18 日現在

機関番号：20101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2023

課題番号：19K08051

研究課題名(和文) がん患者の自殺の実態調査と医療者を対象とした自殺予防研修プログラムの開発研究

研究課題名(英文) Study on suicide in cancer: survey and development of training course for suicide prevention

研究代表者

河西 千秋 (Kawanishi, Chiaki)

札幌医科大学・医学部・教授

研究者番号：50315769

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：報告者は、日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会(PSP)会員病院を対象に病院内のがん患者の自殺事故調査を行い報告をした(成田, 河西ら, 患者安全推進ジャーナル, 2022)。また、同協議会が2011年に発刊した、ジャーナル別冊「病院内の自殺対策のすすめ方」を、新たな知見を加え全面改訂し2023年に発刊した。また、2011年から経年的に実施されてきた、院内自殺事故予防と事後対応のための研修会(PSP主催)において、がん患者の自殺事故の現況やその対策に関する研修プログラムを開発し、加えて、自殺事故が生じたあとの事後対応と医療者のケアのための教育研修プログラムを新たに開発した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

がん罹患、特にがんと診断されて1年以内の罹患者は自殺のリスクが高いことが知られている。報告者は、日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会(PSP)会員病院を対象に病院内のがん患者の自殺事故調査を行った。また、がん患者の自殺事故の現況やその対策に関する研修プログラムを開発し、PSPが経年的に実施している自殺予防研修プログラムに導入すると共に、自殺事故が生じたあとの事後対応と医療者のケアのための教育研修プログラムを新たに開発した。また、自殺事故予防と事後対応の普及のために、同協議会が2011年に発刊した書籍、「病院内の自殺対策のすすめ方」を、新たな知見を加え全面改訂し2023年に発刊した。

研究成果の概要(英文)：The authors conducted survey of suicide incidents among cancer patients in the member hospitals of the Patient Safety Promotion (PSP) Committee of the Japan Council for Quality Health Care (JCQHC), and reported the situation. The authors developed a training program on the current status of suicide accidents among cancer patients, and introduced it at the 2-day training workshop for the prevention and response to suicide accidents conducted by the PSP. In addition, the authors developed a new training program for postvention for suicide accident and care for medical personnel. The authors revised the 'Recommendations for Suicide Prevention in Hospitals' which was published in 2011 by the PSP based on the new findings, and published second version of it in 2023.

研究分野：自殺予防学

キーワード：自殺予防 患者安全 医療事故 メンタルヘルス 心理的危機介入 教育 多職種協働 支援者支援

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

日本の自殺率は予てから高値で、先進国中最悪水準が続き、自殺は日本の公衆衛生上の最大重要課題であった。自殺の危険因子として、「がんをはじめとする慢性/進行性疾患の罹患」が知られており (Bostwick, 2002)。米国では、自殺が病院における重大事故の上位に位置することが米国の病院機能認証機構、“The Joint Commission”の経年調査から明らかにされていた (<http://www.jointcommission.org/SentinelEvents/>)。応募者らは、日本医療機能評価機構機認定病院患者安全推進協議会(以後、協議会)と共同で2005年と2015年に全国規模の実態調査を行い、一般病院の入院患者に多数の自殺が発生していたことを明らかにしていた(岩下ら, 2006; Kawanishiら, 2007; 河西ら, 2016; Inoueら, 2017)。特に第2回の調査(表1)では、一般病棟で発生した自殺の約半数が、がん患者であることが明らかにされ、この実態について機構でプレス会見が行われたこともあって注目された。加えて近年、がんと診断されてから1年以内の自殺リスクが極めて高いことが相次いで報告され(Fangら, 2012; Yamauchiら, 2014)、がん医療における自殺問題、およびその予防の取り組みに関心が集まっていた。2013年以降、この問題は厚生労働省社会保障審議会で繰り返し議論され、2016年12月21日の第63回がん対策推進協議会においても、この問題が議論され、がん対策基本法に基づく「第3期がん対策推進基本計画(2018年3月に閣議決定)」に初めてがん患者の自殺予防対策が明記されることとなった。

2. 研究の目的

本研究は、入院中のがん患者の自殺の実態を、腫瘍学、精神医学、医療安全学、あるいは自殺予防学等の複合的な観点から明らかにし、その実態に基づき自殺予防にとって重要な因子を抽出し、がん医療に携わる医療者を対象に自殺予防のための教育研修プログラムを開発し、その有効性を明らかにするとともに、さらに、これを広く普及・啓発し、診療現場において自殺予防活動と研究を推進することを目的として実施された。

3. 研究の方法

以下の方法による研究実施を計画した。

1) 入院中のがん患者の自殺の実態を、腫瘍学、精神医学、医療安全学、あるいは自殺予防学等の複合的な観点から明らかにする

: 研究代表者らが、2005年、15年に実施した病院内の自殺事故の実態調査(岩下ら, 2006; 河西ら, 2016)の結果を参照し、入院中のがん患者の自殺の実態調査のための調査紙を平成30年度前期に作成した。これを、協議会に所属する全国の認定病院一般病院(約1300病院)の医療安全管理担当者宛てに送付し回答を依頼し、一定期間後に調査紙を回収し、平成30年度後期に集計、解析した。

2) がん医療に携わる医療者への自殺予防のための教育プログラムを開発する

: 上記1)を踏まえて、2011年より協議会が主催してきた入患者の自殺予防と自殺事故後の事後対応に関する研修会における「がん患者の自殺予防に資する教育研修プログラム」を開発した。さらに、院内で自殺が発生した後の医療者のケアに特化した教育研修プログラムを開発した(アウトカム5、平成31年度後期)。

3) 本研究で得られた成果を広く普及・啓発し、診療現場における自殺予防活動と研究を推進する

本研究で得られた成果をとりまとめ、協議会が発行、配信する患者安全推進ジャーナル等の学術誌等で普及、啓発を行った。

4. 研究成果

研究期間全体を通じて、以下の成果をとりまとめた。

2020年から21年の期間に、日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会会員病院を対象に病院内のがん患者の自殺事故調査結果を行った。同調査は新型コロナ感染拡大下で実施さ

れたために、回答数がかなり限られたものの、がん患者の自殺事故の特性について、報告をした（成田、河西ら，患者安全推進ジャーナル，2022）。そして、同協議会が、2011年に発刊した、ジャーナル別冊「病院内の自殺対策のすすめ方」を、報告者らが実施した最新の研究成果等を踏まえて全面改訂し、改訂版を2022年度末に発刊した（報告者と研究分担者らが監修）。同書は、病院内の自殺予防に特化した世界で唯一の専門書籍である。

また、2011年から経年的に実施されてきた、院内自殺事故予防と事後対応のための研修会（認定病院患者安全推進協議会主催）に、上記の成果等を踏まえてがん患者の自殺事故の現況やその対策に関する教育研修プログラムを開発、導入した。最終年度には、上記の2020年 21年のがん患者の自殺事故調査結果から課題であることが明らかとなった、自殺事故が生じたあとの事後対応と医療者のケアのための教育研修プログラムを開発した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 14件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 成田賢治, 河西千秋	4. 巻 69
2. 論文標題 がん患者の入院中の自殺関連事故	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 患者安全推進ジャーナル	6. 最初と最後の頁 65-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 煤賀隆宏, 岩木敦子, 石井貴男, 河西千秋	4. 巻 42
2. 論文標題 自殺未遂者家族の支援の在り方に関する質的研究: 一家族との1年半にわたる面接に基づく予備的研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 自殺予防と危機介入	6. 最初と最後の頁 32-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tachikawa H, Takahashi S, Nemoto K, Yonemoto N, Oda Hiroyuki, Miyake Y, Hirayasu Y, Arai T, Kawanishi C	4. 巻 online
2. 論文標題 Predictive factors for recurrent suicide attempts: evidence from ACTION-J study.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PCNR	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pcn5.7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 河西千秋	4. 巻 279
2. 論文標題 診療報酬化された自殺予防医療: アサーティブ・ケース・マネージメント介入は自殺未遂者自殺再企図・自傷行為を抑止する.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 別冊医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 12-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石田智隆, 柏木智則, 河西千秋	4. 巻 480
2. 論文標題 高齢者の自殺	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Current Therapy	6. 最初と最後の頁 51-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田所重紀, 河西千秋	4. 巻 48
2. 論文標題 新型コロナウイルス禍における自殺対策：精神療法家にできること・すべきこと	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 精神療法	6. 最初と最後の頁 502-507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上佳祐, 河西千秋	4. 巻 25
2. 論文標題 統合失調症の自殺および向精神薬との関係	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床精神薬理	6. 最初と最後の頁 371-376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野呂孝徳, 石井貴男, 河西千秋	4. 巻 33
2. 論文標題 高齢者のリエゾン：高齢者の自殺企図への対応	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 老年精神医学	6. 最初と最後の頁 53-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inui-Yukawa M, Miyaoka H, Yamamoto K, Kamijo Y, Takai M, Yonemoto N, Kawanishi C, Otsuka K, Tachikawa H, Hirayasu H	4. 巻 304:114125
2. 論文標題 Effectiveness of assertive case management for patients with suicidal intent.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychiatry Res	6. 最初と最後の頁 Epub
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres.2021.114125	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue K, Kawashima Y, ,Noguchi H, Fujimori M, Akechi T, Kawanishi C, Uchitomi Y, Matsuoka Y	4. 巻 75
2. 論文標題 Attitude to suicide prevention and suicide intervention skills among oncology professionals: An online cross-sectional survey in Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurisci	6. 最初と最後の頁 401-402
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13297	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋, 成田賢治	4. 巻 11
2. 論文標題 自殺念慮の確認と自殺リスク評価	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Depression Strategy	6. 最初と最後の頁 5-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋, 成田賢治	4. 巻 63
2. 論文標題 自殺リスクと精神保健：最近の自殺問題と精神保健	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 精神医学	6. 最初と最後の頁 1041-1047
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1405206402	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋	4. 巻 21
2. 論文標題 保健・医療における自殺対策と心理職に期待される役割	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 527-534
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋	4. 巻 36
2. 論文標題 医療安全とポストヴェンション：医療事故としての自殺と事故後のスタッフ・ケア	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 精神科治療学	6. 最初と最後の頁 1027-1034
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋	4. 巻 279
2. 論文標題 診療報酬化された自殺予防医療：アサーティブ・ケース・マネジメント介入は自殺未遂者の自殺再企 図・自傷行為を抑止する	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 12-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima Y, Yonemoto N, Kawanishi C, Otsuka K, Mimura M, Otaka Y, Okamura K, Kinoshita T, Shirakawa O, Yoshimura R, Eto N, Hashimoto S, Tachikawa H, Furuno T, Sugimoto T, Ikeshita K, Inagaki M, Yamada M	4. 巻 74
2. 論文標題 A two-day assertive case management educational program for medical personnel to prevent suicide attempts: a multicenter pre-post observational study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 362-370
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12999	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato I, Onishi H, Kawanishi C, Yamada S, Ishida M, Kawakami K	4. 巻 10
2. 論文標題 Neuroleptic malignant syndrome in patients with cancer: a systematic review.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Support Palliat Care	6. 最初と最後の頁 265-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjspcare-2020-002200	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsujii N, Shirakawa O, Niwa A, Yonemoto N, Kawanishi C, Yamamoto K, Sugimoto T, Hirayasu Y	4. 巻 272
2. 論文標題 Hopelessness Is Associated With Repeated Suicidal Behaviors After Discharge in Patients Admitted to Emergency Departments for Attempted Suicide.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Affect Dis	6. 最初と最後の頁 170-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2020.04.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue K, Kawanishi C, Narita K, Cho Y, Otsuka K	4. 巻 74
2. 論文標題 Suicide prevention and postvention in hospitals in Japan: current status and perspectives.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurisci	6. 最初と最後の頁 414-415
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Norimoto K, Ikeshita K, Kishimoto T, Okuchi K, Yonemoto N, Sugimoto T, Chida F, Shimoda S, Hirayasu Y, Kawanishi C	4. 巻 20
2. 論文標題 Effect of assertive case management intervention on suicide attempters with comorbid Axis I and II psychiatric diagnoses: secondary analysis of a randomised controlled trial.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 311
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-020-02723-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋, 成田賢治, 川島義高	4. 巻 49
2. 論文標題 自殺の危機介入の統合	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床精神医学	6. 最初と最後の頁 1018-1024
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋, 成田賢治	4. 巻 35
2. 論文標題 地域自殺対策への精神科医の関与	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神科治療学	6. 最初と最後の頁 875-880
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋	4. 巻 40
2. 論文標題 殺未遂者に対する医療施策と支援事業	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自殺予防と危機介入	6. 最初と最後の頁 47-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋	4. 巻 38
2. 論文標題 医療者が知っておくべき自殺予防対策に関する最近の話題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本精神科病院協会誌	6. 最初と最後の頁 47-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furuse K, Ukai W, Hashimoto E, Hashiguchi H, Kigawa Y, Ishii T, Tayama M, Deriha K, Shiraishi M, Kawanishi C	4. 巻 247
2. 論文標題 Antidepressant activities of escitalopram and blonanserin on prenatal and adolescent combined stress-induced depression model: possible role of nerutrophic mechanism change in serum and nucleus accumbens	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Affect Dis	6. 最初と最後の頁 97-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2019.01.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima Y, Yonemoto N, Inagaki M, Inoue K, Kawanishi C, Yamada M	4. 巻 60
2. 論文標題 Interventions to prevent suicidal behavior and ideation for patients with cancer: a systematic review	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gen Hosp Psychiatry	6. 最初と最後の頁 98-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.genhosppsy.2019.07.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hattori S, Kishida I, Suda, A, Kawanishi C, Miyauchi M, Shiraishi Y, Fujibayashi M, Trsujita N, Ishii C, Moritani T, Saigusa Y, Hirayasu Y	4. 巻 5
2. 論文標題 A return to work program improves parasympathetic activity and psychiatric symptoms in workers on sick leave due to depression	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 e02151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2019.e02151	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue K, Otsuka K, Onishi H, Cho Y, Shiraishi M, Narita K, Kawanishi C	4. 巻 48
2. 論文標題 Multi-institutional survey of suicide death among inpatients with schizophrenia in comparison with depression	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Asian J Psychiatry	6. 最初と最後の頁 Epub
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajp.2019.101908	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima Y, Yonemoto N, Kawanishi C, Otsuka K, Mimura M, Otaka Y, Okamura K, Kinoshita T, Shirakawa O, Yoshimura R, Eto N, Hashimoto S, Tachikawa H, Furuno T, Sugimoto T, Ikeshita K, Inagaki M, Yamada M	4. 巻 Mar 12
2. 論文標題 A two-day assertive case management educational program for medical personnel to prevent suicide attempts: a multicenter pre-post observational study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 Epub
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12999	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河西千秋	4. 巻 135
2. 論文標題 日本の自殺問題の推移と最近の医療施策・取り組み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 最新精神医学	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田賢司, 乾真美, 白石将毅, 河西千秋	4. 巻 22
2. 論文標題 過量服薬と自殺	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床精神薬理	6. 最初と最後の頁 225-229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白石将毅, 成田賢司, 河西千秋	4. 巻 48
2. 論文標題 スマートフォンのアプリを用いた自殺予防	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床精神医学	6. 最初と最後の頁 1087-1091
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計17件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 4件）

1. 発表者名 Narita K, Ishii T, Ohe A, Inoue K, Kawanishi C
2. 発表標題 Suicide and suicide related behaviour in cancer inpatients.
3. 学会等名 19th European Symposium on Suicide and Suicidal Behaviour (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tsuyama Y, Tadokoro S, Narita K, Ishibashi R, Sano T, Ohe A, Kawanishi C
2. 発表標題 Psychological crisis intervention based on individual psychiatric assessment for frontline healthcare workers during the COVID-19 pandemic: a pilot study.
3. 学会等名 19th European Symposium on Suicide and Suicidal Behaviour (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 がん医療における自殺問題
3. 学会等名 第18回日本うつ病学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 総合病院における自殺予防医療と地域貢献
3. 学会等名 第34回日本総合病院精神医学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Chiaki Kawanishi
2. 発表標題 The strategic research for care for suicide attempters and its social implementation in Japan.
3. 学会等名 9th. Asia Pacific Regional Conference of the International Association for Suicide Prevention
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tsuyama Y, Ishii T, Narita K, Iwaki A, Masakawa A, Yamada M, Kawanishi C
2. 発表標題 Implementation of the evidence-based assertive case management program for suicide attempters in Japan.
3. 学会等名 9th. Asia Pacific Regional Conference of the International Association for Suicide Prevention
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 大学病院における精神科診療の役割：自殺のハイリスク患者への介入と診療教育
3. 学会等名 第116回日本精神神経学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 自殺対策：診療報酬制度と医療施策
3. 学会等名 第116回日本精神神経学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 がん患者の自殺関連行動の予防のためのケース・マネジメント介入
3. 学会等名 第33回日本総合病院精神医学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 自殺事故後のポストヴェンション
3. 学会等名 第33回日本総合病院精神医学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yamada M, Kawashima Y, Yonemoto N, Knagaki M, Kawanishi C
2. 発表標題 Dissemination and implementation of evidence-based interventions in psychiatry. Lessons learned from a large scale, multicenter, randomized controlled trial, ACTION-J study
3. 学会等名 6th Asian College of Neuropsychopharmacology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chiaki Kawanishi, Hirokazu Tachikawa, Takao Ishii
2. 発表標題 Dissemination and implementation of an evidence based care for suicide attempters in Japan
3. 学会等名 30th World Congress of the International Association for Suicide Prevention (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河西千秋, 大塚耕太郎
2. 発表標題 病院内の自殺予防と事後対応のための教育研修
3. 学会等名 第14回日本統合失調症学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 精神科医療者が知っておきたい医療における自殺予防対策の取り組み
3. 学会等名 第8回日本精神科医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 自殺未遂者に対する医療施策と支援事業
3. 学会等名 第43回日本自殺予防学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 医療における自殺予防対策の取り組み
3. 学会等名 第23回日本精神保健・予防学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河西千秋
2. 発表標題 マラソンレクチャー：自殺企図への対応
3. 学会等名 第32回日本総合病院精神医学会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 河西千秋（編集：杉山直也）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 101
3. 書名 別冊医学のあゆみ	

1. 著者名 大塚耕太郎，河西千秋（編集：松下正明）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 525
3. 書名 精神疾患の臨床：地域精神医療・リエゾン精神医療・精神科救急医療（監修：松下正明）	

1. 著者名 河西千秋（編集：三村將）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本医師会	5. 総ページ数 365
3. 書名 精神疾患診療	

1. 著者名 河西千秋（編集：青木省三、宮岡等、福田正人）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 136
3. 書名 こころの科学	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	大塚 耕太郎 (Otsuka Kotaro) (00337156)	岩手医科大学・医学部・教授 (31201)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------